



湘南櫻友会報

第4号 平成18年12月1日発行

発行責任者 竹内 猛
編集責任者 内海 孝夫
事務局 茅ヶ崎市中海岸 4-4-11
浦田憲一方

～公開講座に思う (I)～

湘南櫻友会会長 竹内 猛 (昭和33年政経)

今年も余す所約1ヶ月。5月の総会から始まった湘南櫻友会も、7月の地引網大会、8月の果物狩りパーベキュー会、9月の湘南ユニバーサルクラブ交流会、10月は第66回学習院公開講演会へと続き、11月末には第1回湘南櫻友会ゴルフ大会、12月9日は待望のクリスマス年忘れ懇親会そして来年2月には東慶寺での法話坐禅会へと流れる。してみれば、何かと忙しい日々だったことになる。この間に数回の幹事会もあり、浦田幹事長はじめ幹事諸姉兄には、種々ご協力頂き、万全な運営が出来たことを心から感謝したい。

特に、10月28日の横浜での公開講演会に当たって、夏の暑い頃から打合せが始まり、その結果、引き受けた神奈川櫻友会だけでなく、鎌倉・湘南も協力を決定、9月から学校側も入り地元黒子軍団の体制も着々と整い、開催当日を迎えた。湘南からは12名の幹事の方々が運営委員として参加、朝10時から夜8時迄、受付・案内・会場整理等々献身的に活動して頂いた。お陰様で、新都市ホールには787名の参会者があり、高島講師等のお話内容も好評で、主催者側も笑顔で終えられたご様子。当日ご参会の会員並びに幹事の皆様には、ここで改めて御礼申しあげる次第。



さて、66回を迎えた公開講演会の意義は確かにあったと思う。参会者一卒業生とその家族が中心一が講演内容に満足し、よかった参考になったと足取り軽く帰られたことだ。だが、開催の趣旨はもっと深いものではなかったのか。横浜では、各学校内容の説明会もあり、中等科から大学まで

の入学案内や資料の配布もあった。今や少子化の中で大学全入時代を迎える。大学間競争は激化するばかりだ。一貫性教育とその歴史を大切にしてきた学習院は、何処に行くのか。この機会に、その行方や発展の方策、それに地区櫻友会が何が出来るかを考えてみたいと思った。(続)

<私の宝物>

湘南櫻友会顧問 橋本 實 (昭和29年政経)



私の敬愛する先輩に深堀佐子さんという方が居られた。私が日本鋼管鶴見製鉄所に配属された昭和29

年(1954年)に技術部門担当の副所長をしておられた方であった。誠に真面目な技術屋さんで9時始まりであったが7時半には出所され現場を一回りしてから席につかれるのを日課とされていた。製鉄所は24時間動いている為である。

氏は若い頃、ドイツのハイデルベルグ大学に留学されたことがあり、当時もドイツ語を忘れないようにと、家にドイツ語教師を呼び勉強に余念がなかった。ある日部屋に伺うと「君、久しぶりにアンデルセンを読んだよ」とおっしゃる、多分デンマーク語で読まれたものと思っているが何時も驚きと敬意をもったものである。家を目白の哲学堂の近くに建てられた時も、二階が潰れたような形をしていたので、窺がうと「後ろの家から富士山が見えにくくなるからね」と言われ、その心くばりにほとほと感じ入ったことがある。

昭和50年(1975年)私がドイツ赴任が決まり、氏にご挨拶に伺うと、「ドイツに行ったら学生歌集があるから買うといいよ」と薦めて下さった。ドイツ人学生は時にビアホールに集まり学生歌をよく歌い且つ飲むのが慣わしでビールをこぼしても歌集が濡れないように本の表、裏の四隅に紙が打ってある特殊なものであった。ジュッセルドルフに赴任してからあちこち本屋を覗いたが見当た

らず、ようやくアルトハイデルベルグの町で購入することが出来た。その後所員の一人が帰国の挨拶に来たときこの歌集を見つけられ、奥さんにせがまれて帰国の贈り物にしてしまった。また何処かで買えると思ったのが甘く、それからアルトハイデルベルグに行っても見当たらず半分あきらめていたが、帰国間近かにウイーンに行きオペラ座の近くの古本屋で学生歌集を見つけたときの喜びは筆舌に尽くしがたいものであった。

私の敬愛する深堀大先輩と、もう誰にも渡したくないこの学生歌集こそ私の心の宝物なのである。

環境問題を考えよう 第2報

板原直枝 (昭和54年文学)

平成18年8月26日(土)
第2回目として神清グリーンリサイクルセンターを見学しました。工場は平成9



年4月～18年7月迄、16000トンの漬物原料野菜の残渣を800トンの肥料として農家に還元し、農家は契約栽培した漬物原料(大根、キャベツ、キュウリ等)を納入するシステムの中核となっています。見学した感想として、

- 1) リサイクルに役立つ施設で藤沢市の生ごみ処理の負荷を軽減している。
- 2) 循環型リサイクルシステムが出来ている。
- 3) 設備の規模もシンプルで処理費用も高くない。
- 4) 何よりも、高齢者(平均65才・10人)が元気で働き、自分の力を発揮していた事です。

「平成18年度(前半)事業報告」

*夏休み地引網大会を今年も7月30日(日)に開催し、ご家族お子さんを含め86名の参加で、好天に恵まれ宝さがしや獲りたての生シラス、天ぷらを味わい大盛況でした。



*会員交流バーベキュー/果物狩り大会を1昨年に引き続き8月26日(土)に実施しました。

ファミリーを交えて45名の賑わいで、梨狩り恒例のバーベキュー等楽しい夏休みの一日を楽しみました。



*SUC・第10回交流親睦会が今年も9月30日(土)にグランドホテル湘南にて開催され、当会より竹内会長以下10名が参加されました。現在15大学が加盟していて、加盟大学との交流を通じて同窓会の輪がより広がってきています。平成21年は当会が当番校になります。

*第66回学習院公開講座が10月28日(土)横浜新都市ホールにて787人という多数の来聴者の中、入試相談会共々盛大に催されました。神奈川、鎌倉、湘南の各桜友会の役員、有志も本講座の運営委員として参画し、同窓の絆を強めました。



***会員交流ゴルフ大会の速報!**

11月28日(火曜)小田急藤沢ゴルフクラブにて、第1回の大会が催されました。参加11名で見事栄えある優勝は長尾昭博さんでした。(詳細はブログをご覧ください)尚、今回は都合で不参加ですが、次回参加希望者が12名おられました。

「平成19年度事業計画予定」

*来年度の第4回総会及懇親会は5月12日(土)に開催が決定しておりますので、念の為お知らせ致します。

尚、次の通り事業の計画を予定しています。

- 2月中旬 東慶寺坐禅会・鎌倉散策
- 5月下旬 会報発行(第5号)
- 7月末 地引網大会(辻堂海岸)
- 9月22日 SUC(湘南地区15大学親睦会)
- 9月下旬 バーベキュー/果物狩り大会
- 12月上旬 クリスマス・年忘れ懇親会

編集後記

当会独自のブログ<http://oyshonan.exblog.jp>を開発しています。会員各位の投稿をお願いします。(詳細はブログをご覧ください)尚、会報の補助手段をも兼ねてメーリングリスト(現在63名)を「ML櫻友湘南グループ」として作成しました。新規登録ご希望の方はご一報をお願いします。

(編集グループ:内海孝夫/櫛原直樹/品川朋代/吉田美桃)